平成27年度

災害発生時のマネジメント
～対策本部の運営～

近年、ますます、地震、台風、水害等の大規模災害が多発していますが、被害をできる限り最小限に抑えるには、初動対応期（地震の場合　発災後72時間）の災害対策本部における対応が非常に重要です。

今回の研修では、災害発生時に対策本部に参集する市町村等職員の皆さまを対象に、災害時の初動対応期においてトップの的確な判断をサポートするため、いかに的確に情報収集をして事態を把握するか学びます。また、被害を最小限に抑えるための初動期の対策本部における対処方法を学び、災害発生時に最善の対処法を考えることができる職員の能力養成をめざします。

研修のポイント

①災害対策本部の図上訓練によりいかに災害対策本部を円滑に運営するか学ぶ。
②情報収集や情報発信（マスコミ対応等）について学ぶ。
③気象庁の情報から避難勧告・指示の発令について考える。

開　催　要　領

日　程	平成28年1月13日（水）～1月15日（金）（3日間）
場　所	全国市町村国際文化研修所　JR京都駅より湖西線約15分　唐崎駅下車徒歩約3分
対　象	災害発生時に対策本部に参集する市町村等職員 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
募集人数	30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿　泊	研修所宿泊棟（宿泊型研修）　※外泊はできません。
経　費	10,500円 上記金額は、研修、宿泊、食事（朝食2回、昼食3回、夕食2回）、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	平成27年12月2日（水）まで
申込方法	JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。 「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所（JIAM）教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
TEL077-578-5932　FAX077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp　[ホームページ] http://www.jiam.jp

[研修の内容及び日程]

1/13（水曜日）

11:00～　**入寮受付・昼食**

12:30～　**開講・オリエンテーション**

13:00～14:10　**【講義】防災行政について**

消防庁国民保護・防災部防災課災害対策官　**加藤　隆佳** 氏

【概要】　災害発生時の防災行政の全体像についてお話しいただきます。特に、近年発生した災害への対応状況や災害法制等に関する国の最新状況、災害対応に係る地方自治体の役割などについてお話しいただきます。

14:25～15:55　**【講義】気象情報の活用について**

気象庁予報部予報課気象防災推進室防災気象官　**板井　秀泰** 氏

【概要】　気象庁の発表する警報等各種防災気象情報について理解し、気象情報と災害発生の関係性について学びます。また、気象庁からの情報をいかに効果的に活用して防災に役立てるかということも考えます。

16:10～18:00　**【事例紹介】東日本大震災における対応と教訓 ～対策本部の活動から～**

宮城県石巻市総務部危機対策課　危機管理監　**平松　進** 氏

【概要】　人口約15万人の石巻市では、東日本大震災で甚大な被害を受けました。そこから見えてきた教訓と今後の課題について、対策本部の活動を中心にお話しいただきます。

18:20～　**交流会**

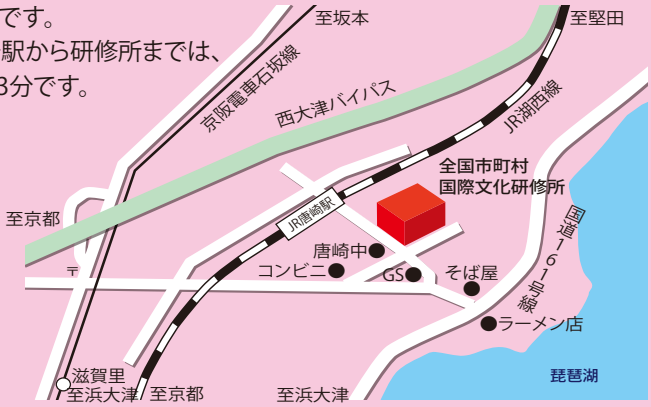
夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦（情報交換・交流）を深めます。

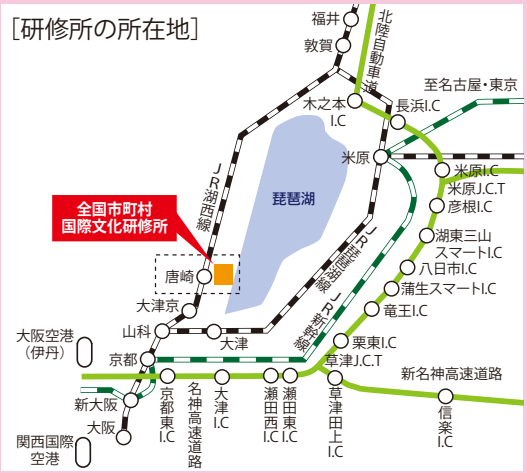
JIAM メールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAM ホームページで受け付けています。

研修所までの交通のご案内

■最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
■JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
■JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。





1/14（木曜日）

9:25～12:00 **【事例紹介】台風への備えと対応 ～タイムラインによる防災対応～**

三重県紀宝町特別参与・危機管理監　**新元　明生** 氏

【概要】　台風が発生した際に、事前に行う自治体の防災対応や住民の防災行動を定めた事前防災行動計画（タイムライン）による台風対応が注目されています。人口約1万2千人の紀宝町では、平成23年の台風第12号をきっかけにタイムラインに着手し、今年度から本格運用を始めています。台風に備へ、タイムラインによる町の行動や国･県等の防災関係機関との関わりについてお話しいただきます。

13:00～15:00 **【事例紹介】災害時の情報活用と課題 ～マスコミ対応を中心に～**

総務省地域力創造アドバイザー、神戸学院大学客員教授
元神戸市広報課長　**桜井　誠一** 氏

【概要】　災害時には、住民等に情報を提供し、被害を最小限に抑える行動を促すことが重要です。そのための情報活用やマスコミ対応など、阪神･淡路大震災や東日本大震災の事例などから具体的なお話をいただきます。

15:15～17:00 **【演習】災害対策本部の運営 ～図上シミュレーション訓練に向けて～**

消防科学総合センター研究開発部長兼統括研究員　**黒田　洋司** 氏

【概要】　災害発生後の災害対策本部がどのようなものかお話しいただきます。その後、翌日の「図上シミュレーション訓練」に向けて概要を説明していただきます。

1/15（金曜日）

9:25～12:00 **【演習】災害対策本部の運営 ～図上シミュレーション訓練～**

消防科学総合センター研究開発部長兼統括研究員　**黒田　洋司** 氏

【概要】　図上シミュレーション訓練により、災害発生直後の災害対策本部の状況を疑似体験していただき、災害時の対応能力向上を目指します。

13:00～14:10 **【講義】まとめ**

消防科学総合センター研究開発部長兼統括研究員　**黒田　洋司** 氏

【概要】　研修をふりかえり、災害時のマネジメントについて、対策本部の運営を中心に、3日間のまとめをしていただきます。

14:10～14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。
　なお、研修についての最新情報は、JIAM ホームページをご覧ください。
◎受講者による授業中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所でお願いいたします。

FAXでのお申込は矢印の方向に

平成27年度 受講申込書

研修名及び時期	災害発生時のマネジメント～対策本部の運営～ 平成28年1月13日（水）～1月15日（金）（3日間）			
市区町村コード番号			※全国市町村要覧に記載のコードを6桁で記入してください。 （例：１２３４５－６の場合、１２３４５６と記入）	
団体名	都道府県		市区町村組合	
所在地（受講決定通知送付先）	〒		申込手続の担当課名	
			担当者名	
			電話番号	
			FAX番号	
			e-mailアドレス	
受講者	所属			
	役職名			
	職階（○印を記入）	1部長級　2課長級　3課長補佐級　4係長級　5主査級　6主任･主事･技師等級 ※自治体職員の方のみ記入してください。 ※不明の場合は、「6 主任･主事･技師等級」を選択してください。		
	ふりがな			
	氏名			
	年齢（研修開始日現在）	歳	性別	男・女
	本研修関連職務の通算経験年月数（研修開始日現在）		年　ヶ月	

上記のとおり、研修の受講を申し込みます。

平成　年　月　日

団体の長の職　氏名

全国市町村国際文化研修所学長　あて

公印省略可

この申込書でご提供いただきました個人情報は、今回の研修実施のために使用します。なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。

全国市町村国際文化研修所（JIAM）教務部　FAX 077-578-5906